

新開発の CMOS センサーや、映像エンジン「DIGIC X」が実現する高速・高画質

- ・EOS シリーズ初搭載となる新開発の有効画素数約 2410 万画素のフルサイズ裏面照射積層型 CMOS センサーと、映像エンジン「DIGIC X」により、電子シャッター撮影時において、AF/AE 追従で最高約 30 コマ/秒の高速連写と高画質を両立。
- ・新 CMOS センサーの高速読み出しにより、電子シャッターによる像の歪みを大幅に抑制。「EOS-1D X Mark III」の電子シャッターと比較して、ローリングシャッター歪みを約 1/4 に低減。
- ・高速連写中も電子ビューファインダー（EVF）に映像を表示し続けるブラックアウトフリー撮影により、激しく動く被写体も見失うことなくフレーミングすることが可能。
- ・メカシャッター／電子先幕撮影時は、最高約 12 コマ/秒の高速連写を実現。
- ・静止画撮影時に常用 ISO102400 の高感度を実現。夜間や室内などの暗いシーンでもノイズを抑えた動体撮影が可能。
- ・RF レンズ使用時、レンズ側の光学式手ブレ補正機構と、ボディ内の手ブレ補正機構の協調制御により、世界最高 8.0 段の手ブレ補正を実現。
- ・「HDR PQ」方式での静止画／動画記録に対応。また、高速でブラケット撮影を行い、カメラ内で 3 枚の写真を合成する「HDR モード」を搭載。階調性豊かな映像表現が可能。

追従性や操作性を追求した先進の高速・高精度・広範囲な AF

- ・「デュアルピクセル CMOS AF II」による、追従性に優れた高速・高精度・広範囲な AF を実現。
- ・電子シャッター撮影時に、最高 60fps の AF 演算およびトラッキング演算を同時に行うことが可能。最高約 30 コマ/秒の高速連写中も精度の高い AF を実現。
- ・人物の瞳・顔・頭部・胴体、動物（犬・猫・鳥）の瞳・顔・全身検出に対応。さらに乗り物（モータースポーツにおける車・バイク）の全体・スポット検出にも対応。ディープラーニング技術を活用したアルゴリズム「EOS iTR AF X」の強化により、検出機能の向上と高い被写体追尾性能を実現。
- ・キャノンのデジタルカメラで初めて、静止画撮影時における視線入力 AF を搭載。ファインダーをのぞいた瞳の動きに合わせて移動するポインターを撮りたい被写体に合わせ、ボタン操作をすることにより、AF フレームを素早く動かし、被写体を切り替えることが可能。
- ・EV-7.5 の低輝度合焦限界を達成。肉眼では被写体の視認が難しい暗い環境下でも AF が可能。
- ・EOS R シリーズ最速となる最高約 0.03 秒の高速 AF を実現。

多様な制作ニーズに対応する動画性能

- ・新 CMOS センサーの高速信号読み出しと、映像エンジン「DIGIC X」の高速処理により、6K/60P 動画の RAW データ（12bit）による内部記録を実現。
- ・4K/120P ハイフレームレート動画撮影を実現。滑らかな映像を撮影することができ、4K の鮮明さはそのままに、きめ細やかで自然なスローモーション効果を得ることが可能。
- ・6K の豊富なデータから、高画質な 4K 動画を生成可能。クロップ（切り出し）なしのオーバーサンプリングによる 4K/60P 動画を実現し、モアレやノイズを低減した繊細な映像表現が可能。
- ・幅広い測距輝度範囲や高性能な被写体検出など「デュアルピクセル CMOS AF II」の優れたフォーカスコントロール性能により、効率的な撮影をサポート。
- ・キャノン独自の Log ガンマ「Canon Log 3」を搭載。従来の「Canon Log」よりもハイライトの階調が飛びにくく、コントラストの高いシーンでも豊かな階調表現が可能。
- ・「CINEMA EOS SYSTEM」を除く EOS シリーズで初めて 30 分以上の連続撮影が可能。最長 6 時間まで記録することができ、ドキュメンタリー撮影などの長時間の連続した撮影に対応。

プロやハイアマチュアユーザーの映像制作を支える信頼性・操作性の追求

- ・高精細バリエーション液晶モニターを採用しながら、フラッグシップモデル「EOS-1D X Mark III」と同等の防じん・防滴性能を実現。高い信頼性を備えながら、縦位置グリップ一体型ボディーと、約 415 万ドットの高精細バリエーション液晶モニターにより、自由度の高い撮影が可能。
- ・耐衝撃性、耐久性が高く、電磁シールド効果にも優れたマグネシウム合金を外装に採用。高い剛性と軽量化を両立。カメラ本体のみの場合は、「EOS 5Ds」よりも軽量。バッテリー、CFexpress カードを含む場合においても、「EOS-1D X Mark III」の約 71%となる質量約 1,015g を達成。
- ・高度な通信機能を持つ「マルチアクセサリースュー」を新搭載。対応するアクセサリーとの組み合わせにより、静止画撮影時の外部ストロボのコントロールや、動画撮影時の音声のデジタル入力、スマホとの接続によるネットワーク活用が可能。
- ・高速センサーにより EOS として初めて、全てのシャッター方式（メカ／電子先幕／電子シャッター）で連続撮影時の調光制御に対応。電子シャッターによる 1/180 秒、最高約 15 コマ/秒連続撮影でのストロボ調光が可能。
- ・音に関する一括設定を行える「サイレントシャッター機能」を搭載。また、液晶モニターを常時消灯することもでき、すばやく音と光に配慮した撮影を行うことが可能。
- ・電源には「EOS-1D X Mark III」との共用が可能な「バッテリーパック LP-E19」を採用。
- ・CFexpress カード（Type B）と SD メモリーカード（UHS-II 対応）のデュアルスロットを搭載。
- ・「ロボティックカメラシステム CR-S700R」に対応。「ベースプレートキット CR-BP200」を使用することで静止画の遠隔撮影操作が可能。